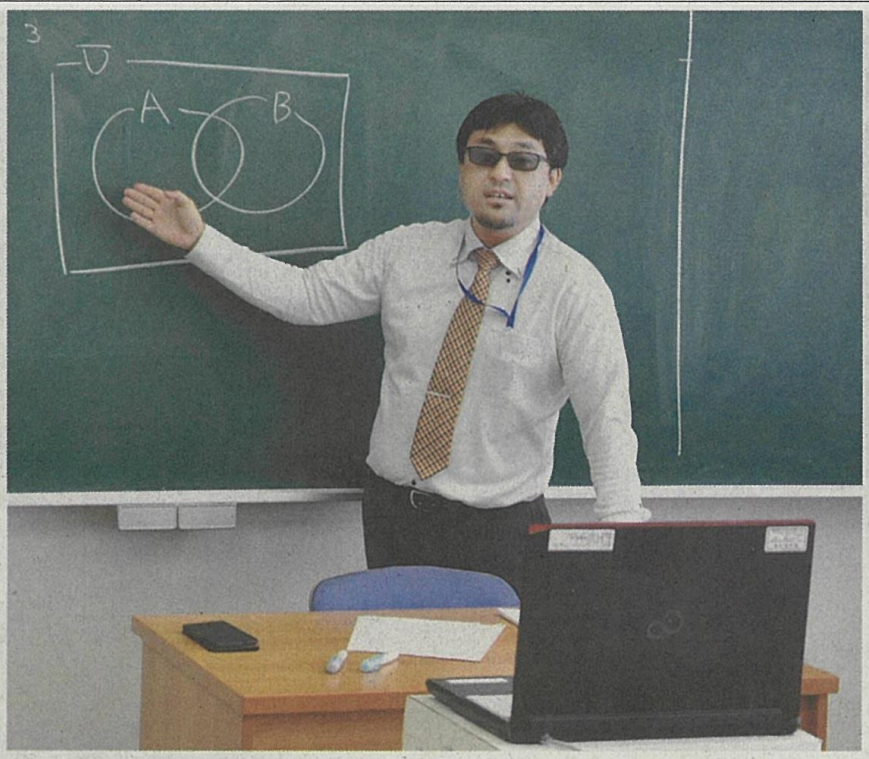
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０２０

読売新聞　令和２年５月１６日（土）

ズーム使って 学習支援

氷上西高 自由参加、数・英で実施



サングラスで変装し、学習支援をする篠原教諭（県立氷上西高校で）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で臨時休校が続く中、ビデオ会議システム「Ｚｏｏｍ（ズーム）」を使った学習支援が、県立氷上西高校（丹波市青垣町）で行われている。

同校は臨時休校中、学校が郵送で配布した課題プリントを生徒が自宅で答えを記入しスマートフォンなどで接写し、メールで学校に送付している。

さらに、全校生１００人の小規模校の特性を生かし、14日、オンラインによる学習指導を始めた。当面は数学と英語に限り、自由参加で実施。黒板の前にウェブカメラ付きのパソコンを置き、教師が生徒に送付したプリントを基に、自宅にいる生徒の反応をうかがいながら、問題のポイントや解き方のコツを助言した。

篠原敬博教諭(38)は「参加すれば楽しいことをＰＲするため、（サングラスをして）変装をして臨んだ。生徒の声が聞けてよかった」。生徒らは「楽しかった。ありがたいです」と喜んでいた。

18、25日には外国語指導助手（ＡＬＴ）とオンラインの英会話講座を予定している。